

平成30年度 第2回みんなで支える森林づくり上伊那地域会議

開催日時 平成30年11月13日(火) 13:30~17:00

開催場所 伊那合同庁舎集合 現地

出席委員 唐澤 幸恵委員(NPO 法人森の座)、木村 彩香委員(LLP マリッジローカコネクト)、
高山 美鈴委員(森だくさんの会)、武田 孝志委員(座長・信州大学農学部)、
辻井 俊恵委員(長野県建築士会伊那支部)、寺澤 茂通委員(上伊那森林組合)、
三井 清一委員(箕輪町産業振興課)、盛 尚貴委員(高遠第2・第3保育園と地
域の未来を考える会)

事務局 堀田地域振興局長(冒頭挨拶)、越原林務課長、小林林務係長、青木林産係長、
福嶋普及係長、小田切主査、北原主事、中田技師、岡田担当係長、山内担当係長、
井原主査

<現地視察>

① 伊那市長谷溝口地区

説明者：溝口区里山整備利用推進協議会 代表 芳賀 二三雄様

事務局 中山 和文様

上伊那森林組合

業務課長 松尾 秀一様

概要：里山整備利用地域の認定を受けた同地区における森林づくり県民税を活用した国道152号沿線の樹木、竹林の整備方針等について協議会から説明いただくとともに、上伊那森林組合によるクレーンを活用した道路際の伐採状況について視察した。

② 伊那市立高遠第2・第3保育園

説明者：園長 山岸 恭子様

概要：園児の遊び場や生活の場になっている裏山を歩きながら、信州やまほいくの取組状況等について説明いただいた。森林づくり県民税を活用したフィールド整備については、遊べる木は残しつつ、危険な木を処理して安全な環境を整備していく予定。

③ 伊那市立伊那西小学校

説明者：学校長 二木 栄次様

教頭 有賀 弘様

教育コーディネーター 千賀 義博様

地域アドバイザー 株式会社やまとわ 代表取締役 中村 博様

森事業部 榎本 浩実様

概要：小規模特認校として、学校林を活用した取組を特色として打ち出すため、学校、PTA、地域、森林の専門家が一体となった学校林活用の方向性の検討状況や、日頃どのように児童が学校林を活用しているのかなど、林間を歩きながら説明いただいた。

＜委員や説明者のご意見の概要＞

- 現場を見ることで、森林税が実際にどのように使われているかがよく理解できた。
- 森林税が公共事業だけではなく、心を豊かにすることに使われていると感じた。
- 溝口の現場では、専門性の高い作業で雇用が生まれていることがわかった。
- 子どもたちのための事業は、将来にわたる森林づくりの面でも重要。活動に子どもたちの参加を絡めることが大切。
- 高遠第2・第3保育園の取組は森林の活用方法として大変参考になった。学びの場の環境整備に森林税が活用できるようになったのはよいこと。
- 伊那西小学校では、安全面への対応が厳しくなっている中で、親御さんの理解を得たうえで学校林を活用する活動が行われていて、素晴らしいと感じた。
- 子どもたちは自然の中で育つ。危険だからといって自然から遠ざけず、機会を与えることが必要。
- 都市部とは異なり、学校林が地域に開かれていると痛感した。